

トークイベント ゲスト

写真家



1979年三重県生まれ。自らも被写体となった家族写真集『浅田家』（赤々舎）で第34回木村伊兵衛写真賞を受賞。日本各地の市井の人々を撮影するアートプロジェクトや写真の啓蒙活動に精力的に取り組んでいる。著書『浅田家』と『アルバムのチカラ』（赤々舎）を原案とした映画『浅田家！』が2020年10月に公開された。

俳優・劇作家・演出家



撮影：浅田政志

1975年福岡県北九州市生まれ。倉本聰主宰「富良野塾」、泊篤志代表「飛ぶ劇場」を経て、2005年「有門正太郎プレゼンツ」を始動。「笑顔になれば何でも出来る」を合い言葉に作、演出も務め、全国でワークショップ活動も行う。一般財団法人地域創造リージョナルシアター事業 派遣アーティスト。かすがい市民文化財団で2018年より行っている「演劇×自分史プロジェクト」の総合演出も務める。

“相手”からはじまる 人生の物語

2022年8月13日(土)14:00-15:30

文化フォーラム春日井・視聴覚ホール(愛知県春日井市鳥居松町5-44)

自分史は、自分以外、誰にも答え合わせができないもの。他人の“ノンフィクション=実話”に耳を傾け、そこから立ち上がる人生の物語を作品化している、浅田政志さんと有門正太郎さん。嘘も真も含め、その妙味とは何なのか。相手の人生を追体験することで、私たちにもたらす“何か”を一緒に考える、トークイベントを開催します。

申込方法 ※定員に達し次第、申込を終了する場合がございます。ご了承ください

メール:ws1@kasugai-bunka.jp タイトルに「トークイベントvol.3」と記載
電話:0568-85-6868

①応募者氏名(ふりがな) ②電話番号をお知らせください。

料 金

500円 当日、会場でお支払いください。

※オンライン配信も予定(詳しくは、HP等で随時お知らせします)

留意事項

マスコミ等の取材が入る場合がございますので、ご了解ください。

「施設利用ガイドライン」による感染防止対策を行っています

- 発熱やせき等の症状が認められる場合は、入場をお断りする場合があります。ご来場前の検温にご協力ください
- 新型コロナウイルスの感染状況によっては、イベントが中止または延期となる場合があります
- 最新情報は、かすがい市民文化財団ホームページをご覧ください



自分史 WHAT'S JIBUNSHI?

自分史とは、歴史家の色川大吉氏が「無名の庶民、無名の個人が、昭和という歴史の中でどのように生きてきたか」という趣旨でまとめた『ある昭和史—自分史の試み』(1975年刊)で体系化された用語です。自叙伝とは異なり“一般市民”に焦点をあてたことで、世間に知られるようになりました。1999年、春日井市は新しい文化施設をオープンするにあたって、「市民が主体となった文化芸術活動」を推進しようと、自治体として初の「日本自分史センター」を開設。かすがい市民文化財団が運営する当センターには、全国から約8,000冊の自分史が集まり、無料で閲覧・貸出を行っています。また、自分史相談や文章講座、サークル活動支援、掌編自分史全国公募などの事業を展開しています。

主催・問合せ

公益財団法人
かすがい市民文化財団

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井 TEL:0568-85-6868
WEB: www.kasugai-bunka.jp